

通訳を使う際の注意点

中国に進出している企業には、自社スタッフに中国語を学ばせるということがよくあります。

各社様々な理由から中国語研修を行っていますが、そこには共通点がありました。

当資料では、なぜ多くの日系企業が通訳に頼らず自社スタッフに学ばせるのか、
その背景をまとめて紹介いたします。

情報漏洩

RISK 3

離職率の高さ

RISK 2

致命的な「誤訳」

RISK 1

通訳に頼る3つのリスク

致命的な誤訳

こんな
感じで



＜＜業界の知識＞＞

通訳が新卒で、業界を知らないということはよくあります。

通訳は日本語はわかるが、業界用語が出てくると、たちまちわからなくなる。

わからなくなると、その場しのぎで適当に訳したりするので致命的な誤解に繋がったりする。

＜＜会話例＞＞

現場スタッフA:

前回のループバックからの改善点を踏まえて、プロセスフローを最適化するつもりです。特に、ボトルネックやタイムロスの問題を解消するための工程改革を意識していきたいです。

駐在員B:

前回のフォローアップを念頭に置いてプロセス改善に取り組むのは重要だね。そして、チーム全体で協力し合えば、効率も向上するだろう。

離職率の高さ

Bye~



＜＜引継ぎ文化は中国にはない＞＞

中国社会では、会社というものは、自分の能力を発揮する場所と考えます。

条件の良い会社があれば、すぐ転職をすることも。

突然会社に来なくなる・退職することはよくある話。

そうになると、また業界用語がわからない新人が入り、非効率的な形で進めることになる。

情報の漏洩



《製造業Aガラス様の顧客事例》

全く中国語ができない駐在員がかなり高度な内部情報まで通訳に訳させていた。その後、通訳が会社に来なくなった。A社は、社として情報漏洩を懸念。

関係の構築と発展

MERIT 3

心理的なハードル

MERIT 2

仕事の効率化

MERIT 1

直接対話3つのメリット

仕事の効率化



＜＜情報共有の精度が高まる＞＞

中国語が少しできると日常的に会話量が増えるため、自然と情報共有の精度が高まります。重要な情報も入りやすく、スムーズに仕事が進みます。

＜＜自分で指示が出せる＞＞

自分で指示が出せると仕事の効率が上がります。
「現地通訳がいる = 365日24時間通訳がいる」というわけではない。

通訳が交通渋滞に巻き込まれて遅れる、体調不良、昼休憩、急に他部署の対応を手伝う、お手洗い、様々な要因で通訳がいない状況も発生。

情報共有の精度



＜インタビュー 四川T自動車中国人スタッフ様＞

Q：中国語が話せる日本人スタッフと話せない日本人スタッフだと、何か違いがありますか？

A：心理的な距離ですね。中国人現地スタッフが「あの人は通訳がいないとダメだ」と「あの人は少し中国語がわかるから、ダメもとで相談してみるか」の違いはとても大きいです。話せないとどこか距離があって、人によっては話す事への「緊張」や少し「怖さ」もあると思います。一方、中国語が少しできると、気さくに声掛けやすいですね。そこからいろいろ情報共有につながると 생각합니다。

自ら指示出し

まだ来ない...



＜顧客実例 工場＞

通訳とは工場現地集合の予定だったが、渋滞に巻き込まれたそうで、担当通訳がまだ現場についていない。

生産ラインでトラブル発生が発生したが、中国語ができる日本人駐在員がたまたまその場にいたため中国語で指示して、生産ラインを止めずに済んだ。

心理的なハードル



＜水1本が買えないという状況が発生＞

中国では英語が基本的に通じません。また中国独自の決済方式がある（現金を受け付けない、クレジットカードは銀聯カード以外NG）など「社会全体がまだ外国人フレンドリーではない」のが実情。

逆に、中国語ができると、買い物・食事・デリバリー・旅行など自分でいろいろでき非常に便利で、出張・駐在への心理的ハードルが下がり、ストレスが軽減されます。

各地の食事もおいしく、むしろ中国出張が楽しいということも。

関係の構築と 発展



《相手へのリスペクトを見える形で示す》

中国社会は「関係」「人脈」が非常に重要です。
中国は外国人が少ない国。中国語ができる外国人は物珍しい。

日本人が中国語を話すと良いイメージになり、
「中国文化を理解しているんだ」「友好的だ」というメッセージになる。

得意先との長いお付き合いと一歩進んだ深いお付き合いにつながります。

日系企業 通訳のイメージ



駐在員

通訳

＜＜野球選手 イチロー型＞＞

基本的に現地の言葉で話したり聞いたりすることはできるが、絶対に間違って伝わってほしくないときは、通訳を使う。

多くの場合、通訳なしでもOK。

ミーティングやメディアの取材などでは、念のため通訳をつけるが、自分の言葉を通訳がどう訳しているのかも理解している。

まとめ

通訳に頼るリスク

- ◆ 致命的な誤解
- ◆ 離職率の高さ
- ◆ 情報漏洩

直接対話のメリット

- ◆ 仕事の効率化
- ◆ 心理的なハードル
- ◆ 関係の構築と発展

運営会社

<u>会社名</u>	株式会社ネットスター
<u>運営責任者</u>	斉 紅強
<u>所在地</u>	〒111-0052 東京都台東区柳橋2丁目14-4 セントラルビル4階
<u>電話番号</u>	03-6380-8893
<u>E-mail</u>	info@bizchina.jp
<u>URL</u>	https://www.bizchina.jp/
<u>事業内容</u>	オンライン中国語研修サービス「BizCHINA」